

補助事業概要の広報資料

補助事業番号 25-1-125

補助事業名 平成25年度学術・文化の振興のための活動 補助事業

補助事業者名 特定非営利活動法人 さいたま映像ボランティアの会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

映画の第3次革命と称されるデジタルシネマにフォーカスしたSKIPシティ国際Dシネマ映画祭を開催する。世界各国から作品を募集し、第一次審査を経てノミネートされた作品を映画祭会場で上映し、厳正な審査によって優秀作品を選んで表彰する。当映画祭の開催を通じ、未来の映像業界を担う若い才能を発掘・育成し、また、地域の住民が良質且つ最先端の映像文化に触れる機会を提供する。これにより、個性豊かな地域文化の創造と活力ある地域の発展を実現するとともに、21世紀の映像文化の健全な発展を図り、もって公益の増進に寄与することを目的とする。また、地元川口市のオートレース事業を映画祭来場者に広くPRし、レジャースポーツとしての理解の増進を図り、オートレース事業の一層の発展への寄与も目指す。

(2) 実施内容

- ① 会 期：2013年7月12日（金）～21日（日）
- ② 開 催 地：SKIPシティ（埼玉県川口市上青木3-12-63）



③ 実施内容

ア. Dシネマの潮流(オープニング上映)

映画祭は、オープニングセレモニーに引き続き、オープニング作品『燦々』の世界プレミア上映で幕を開けた。当映画祭2007の短編部門で奨励賞を受賞した外山文治監督が、彩の国ビジュアルプラザの若手映像クリエイター支援プログラム<D-MAP>第4弾作品として制作したもの。出演は、吉行和子、宝田明、山本学ほか。大手新聞に大きく取り上げられたこともあって満員札止めとなり、急きょ2回目の上映を行った。劇場公開は2013年11月の予定。

イ. コンペティション部門

デジタル制作・上映に特化した映画作品を募集し、世界79の国と地域から502本(うち国内58本)の長編作品と国内から159本の短編作品の応募があった。長編12名、短編3名の一次審査委員が、映画祭で上映する作品の選考に当たり、海外長編9作品、国内長編3作品、短編12作品を選んだ。ここで選ばれたノミネート作品を、期間中に各2回ずつ上映し、富山省吾氏(日本アカデミー賞協会事務局長)を審査委員長とする国際審査委員と、榊井省志氏(映画プロデューサー)を審査委員長とする短編審査委員による厳正な審査を経て、長編は、最優秀作品賞、監督賞、脚本賞、審査員特別賞各1作品、短編は、最優秀作品賞1作品と奨励賞2作品を選定し、トロフィー・賞状・賞金を贈って表彰した。なお、SKIPシティアワードは、国内作品を対象にしており、選ばれた作品には、受賞者の次回長編映画に対する制作支援を行うこととなっている。受賞作は以下の通りである。

【長編】最優秀作品賞：『チャイカ』(スペイン他)、監督賞：『フロントライン・ミッション』(イスラエル他)、脚本賞：『セブン・ボックス』(パラグアイ)、審査員特別賞：『神奈川芸術大学映像学科研究室』(日本)、SKIPシティアワード：『ロマンス・ロード』(日本)

【短編】最優秀作品賞：『転校生』、奨励賞：『日の射すほうへ』、『もはやないもの』



ウ. 招待作品等

(a) シネマ歌舞伎

『籠釣瓶花街酔醒』（三世河竹新七作、中村勘三郎、坂東玉三郎、片岡仁左衛門他出演）。常連の多数の歌舞伎ファンで会場は満席となった。

(b) Livespireグラインドボーン音楽祭オペラ 『ドン・ジョヴァンニ』

エ. 10周年特別企画

(a) ロッテルダム映画祭提携…同映画祭のプログラマー推奨による受賞作等3作品（『ソルダート・ジャネット』、『ザ・リザレクション・オブ・ア・バスタード』、『春夢』）の上映とシンポジウムを開催した。

(b) 過去ノミネート・受賞監督の新作上映会

『おだやかな日常』（監督：内田伸輝）、『THE FUTURE』（監督：ミランダ・ジュライ）、『リルウの冒険』（監督：熊坂出）

(c) 傑作短編WEB投票「あなたが選ぶベスト3」上映

過去の傑作短編をネット配信しWEB投票で選ばれたベスト3（『小さなユリと第一章・夕方の三十分』、『ケンとカズ』、『ユメのおと』）を表彰・上映した。

(d) 野外映画会…地域で人気。3夜連続で開催。

家族連れを中心として約1,000人が鑑賞した。

オ. 関連企画

(a) バリアフリー上映『のぼうの城』（日本語字幕+音声ガイド付）

(b) Go-a l l 『埼玉家族』上映&トークイベント

(c) コバトンTHEムービー新作上映&トークイベント

(d) カメラクレヨン～親子で楽しむ映画の世界～（2012年「川口子ども映画クラブ」制作作品、映像ミュージアムCM制作ワークショップ作品、チェコ・日本合作による立体アニメーション）

カ. 映画祭関連イベント（SKIPシティ夏祭り）

ふれあいイベント、人気キャラクターと遊ぼう、ごみまるふわふわで遊ぼう、防災コーナー、一日動物村、SKIPシティ盆踊り、SKIPシティの夜店、ビアガーデン、映画音楽のタベ、おもてなし甲冑隊、リングに賭ける青春、埼玉いいものうまいもの、鳩ヶ谷特産品販売、ブルドックソース料理教室、オートレースPRイベント他。シネマカフェTULLY ‘Sは映画関係者とファンの交流の場として賑わい、臨時保育サービスは育児の為に映画を見る機会がないお母さんに好評。



④ 成果

- ・ 長編コンペティション部門（海外）応募作品数
444作品（目標 480作品／前回 517作品）
- ・ 国内長編コンペティション部門（国内）応募作品数
58作品（目標 50作品／前回 54作品）
- ・ 短編コンペティション部門応募作品数
159作品（目標 150作品／前回 159作品）
- ・ 総観客数 10,043名（目標 7,300名／前回 8,077名）
- ・ 総来場者数 50,570名（目標40,000名／前回44,333名）
- ・ 応募国数 80の国と地域（前回 84の国と地域）

2. 予想される事業実施効果

当映画祭の開催により、地元住民及び首都圏から来場した映画ファンが、内容・技術両面で良質な映画に触れられる機会を提供し、また、世界各地から招聘した映画関係者と我が国の映像業界関係者及び観客、地域住民との国際交流の場づくりを演出した。これにより、映画文化の健全な育成と発展に大きく貢献した。今後は、川口市及び埼玉県を中心に地域における映画文化の育成・発展が一層進み、また、多くの若い監督が映画界で認められ第一線で活躍することをつうじて日本のみならず世界の映画産業、映画文化がより活性化することが期待できる。

3. 本事業により作成した印刷物

開催告知ガイド(和文) A2

開催告知ガイド(英文) A2

シネマロードイベント・チラシ



開催告知ポスター B1

開催告知ポスター B2

開催告知ポスター B3

公式プログラム



4. 事業内容についての問い合わせ

団体名： 特定非営利活動法人 さいたま映像ボランティアの会

住所： 333-0845

川口市上青木西1-20-3 産業文化会館206

代表者名： 理事長 田中 一成（タナカ カズナリ）

担当部署： 本部（ホンブ）

担当者名： 事務局長 浅見 洋子（アサミ ヨウコ ）

電話番号： 048-259-3421

F A X： 048-253-1305

E-mail： eizov@bf7.so-net.ne.jp

U R L： <http://www.eizov.com/index.php>